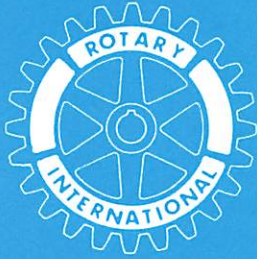


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 宮尾 紘 司
 幹事 水谷 祥 督
 広報・会報委員長 伊藤 健 文

No. 13

ロータリーは分かちあいの心

ROTARY SHARES

2007~2008年度 RI会長 ウィルフリッド J.ウィルキンソン

きょうの例会
 第1200回 平成19年10月16日(火)
 創立25周年記念式典祝宴

先週の記録
 第1199回 平成19年10月9日(火) 曇
 ガバナー補佐訪問

◆奉仕の理想

◆ビジター紹介

東名古屋分区ガバナー補佐	佐藤 正延君
RI第2760地区副幹事	塚原 秀典君
東名古屋分区ガバナー補佐幹事	太田 健一君

◆出席報告

会員	61 (57) 名	出席	50名
出席率	87.72 %		
前々回	9月25日 (修正出席率)		89.47 %

水谷幹事報告

- 1) 本日例会終了後、クラブ協議会を開催致しますので、担当の方は芙蓉の間にお集り下さい。
- 2) 次回例会は創立25周年記念式典で午後5時30分より鳳凰の間にて開催いたします。お昼間の例会はございません。
- 3) ロータリーの友とガバナー月信が来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。

◆新会員推薦者 和田 正敏君へバッジ授与

宮尾会長挨拶

本日は佐藤正延東名古屋分区ガバナー補佐、塚原秀典RI2760地区副幹事、太田健一ガバナー補佐幹事をお迎えし、11時30分より別室で懇談会がありました。今後のクラブ運営の為に示唆に富むお話し有難うございました。当クラブも次週16日の例会は1200回目の例会で創立25周年を迎えることになりました。佐藤ガバナー補佐におかれましては、式典にも御出席頂け、2週連続ですが、よろしく御願ひ致します。又会員の皆様には、色々役割分担がございしますが、当日は御自分の役割を忘れない程度に充分楽しんで頂きたいと思ひます。さてウィルフリッドRI会長は、「私達が自らロータ

リーに進んで関与することを決意し、その重要な最初の一步を踏み出すなら、そしてただ一言“yes”と肯定的な返事をする事ができたなら、私達はクラブの支柱的存在となる。」と言っておられます。これと似た言葉を歌手であり俳優である中村雅俊さんが言っていました。「50才を超えてから、若い時よりも向上心とか、チャレンジ精神が出てきました。そして何よりすべてのことを運命だと思って受け入れていくこと。Noと言えは先はないけれど、Yesと言えは先の世界は広がっていく。そうやって生きていくようになりました。これはオノヨーコさんに教えてもらったことです。」我々も、いつもYesで仕事に、ロータリーにチャレンジしていきたいものです。

佐藤ガバナー補佐ご挨拶



本日はたくさんの会員の皆様にご出席頂き有り難う御座います。

次週は創立25周年という事で誠にめでたうございます。この長い歴史は先輩方のご苦勞があり、築かれ今日があるのです。会長の今年のテーマ感謝を感じ心より敬意を表したいと思ひます。

ガバナーより義援金・災害救助金のお願ひにも非常に好意的にご寄付頂きありがとうございます。

本年度RI会長ウィルキンソン会長のテーマは「ロータリーは分かちあいの心」です。

それは、特に一個人による行為であり、個人的な選択でもあります。私達一人一人がどれだけロータリーに時間とエネルギーを捧げることが出来るかと云うことが基本に無ければなりません。

やがてそれが、各クラブが会員相互へ又地元へ地域社会へそして海外へ分かち合う事になると思ひます。

「分かちあう」という事は、個人の余分なるものを分かち合うのではなく、自分自身の大切なものを分かち合うと述べられておられます。

志を一番表しているのがステファン・グレレの詩の「この人生はたった一度限りの旅だと思ふから私に出来るよい事、私が友にしてあげられる親切ならどんなことでも今させて下さい。再び引き返して来ることがないのなら、先延ばししたり、なおざりにしたくないのです。」

この詩の中にRI会長の心が凝縮されていると思います。

当2760地区江崎柳節ガバナーは、テーマ「違いをもちたらそう」を掲げられました。

“ロータリーの伝道者”と言われる江崎ガバナーは、ロータリーは選ばれた優良な実業人と専門職業人が奉仕の理念の会得を誓い合った人々の集う場なのです。

各々の業界ではなし得ない会員相互の研磨と専門性を伴った高い倫理に結ばれた友情の舞台です。

今や、奉仕はロータリーの専権ではありません。地域には、NPOありボランティアがそれぞれに活動しています。ロータリーの奉仕活動は今一つ社会に認知されていない部分があります。「ロータリーの違いを見直しましょう。」今こそロータリーの高い倫理感、専門性、そして職能性を基にした奉仕でその違いを示して参りましょう。まことにそうだなということ私を心から感じ入る次第です。

クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）というのは、元気を失ったクラブを元気にし、また再生しようということで、貴クラブでは非常に積極的に取り組み、始められているようです。

また今年度は、GSEにおいて、東名古屋分区で担当することになり、皆様方のご理解とご協力に心からお礼を申し上げます。

それから今一つ、分区では私ども守山ロータリークラブがホストを務めて来年2月27日にIMを開催致します。人間の命について愛について何か皆様に感動を頂けるよう準備を進めておりますので、ご参加をお願い致します。

ロータリーの奉仕には色々ありますが、職業奉仕が一番重要ではないかと思えます。そのためにはまず例会あるいは親睦会等々の会に出席して、各々の仲間が自分が体験していない話、また他の人の人格に触れることによって自分自身大いに研鑽を積み、それを自分のものとして、事業所あるいは職場の中で、「みんなのためになるかどうか」、また「自分の利益よりもまず相手がいかに喜ぶか」を考えて、ロータリーで積んだ研鑽を感動、感激、感謝で周りのものに伝えていくということが大事ではないかというふうに考えております。

ロータリーというものは知識として知っているだけではだめで、いろんな体験の積み重ねによって初めてロータリーは身につけていくものであるというたとえ話です。

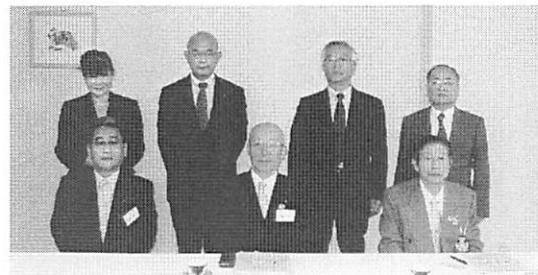
山の中のある片田舎でおばあさんがザルの中に羊の毛を入れて小川の流れの中で洗っておりました。そこ

へ神父さんが通りかかって「おばあさん、あんたは毎週教会に来て私の話を聞いているがさぞかし物知りになったろうね」と言いました。そうしたらおばあさんが「いや、神父さん。聞いてもすぐ忘れてしまうからね、何も覚えていませんよ。でも神父さん、このザルの中を見てください。ザルの中にはどんどん水が入っていきますが、すぐザルの外へ流れ去っていきます。しかし、ザルの中の羊の毛はどんどんきれいになっていくではありませんか。私も神父さんの話を聞いては忘れ、聞いては忘れてはいますが、それで私の心の中は少しずつでもきれいになっていると思いますよ」と答えました。

ロータリーは先ず楽しい例会を目指すべきでしょう。楽しい例会とは、優秀な会員が各々の肩書きをはずして、一人の魅力ある人間として、例会其の他で心を通す事によって、毎週の例会で、その親睦が深まり各クラブの特性を生かし乍、大いなる力となると信じて居ります。

会長・幹事懇談会

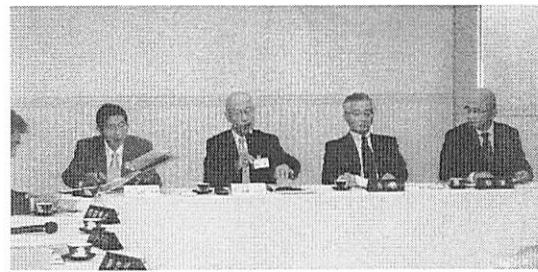
11:30~12:20



副会長・副幹事も交え、和やかな雰囲気の中、例会へ

クラブ協議会

13:40~14:40



各委員長より活動内容や計画を発表後、塚原地区副幹事よりロータリー財団に寄付参加だけでなく是非補助金申請をご利用下さいと、太田ガバナー補佐幹事より大変頑張っているらっしゃると、最後に佐藤ガバナー補佐より会員増強は大変ですが、退会防止に努めて下さい、社会奉仕委員会は出来れば3年継続が良いと思う等ご助言をいただき、最後に25周年が成功裡に終わられますよう願っておりますとの言葉をいただき補佐訪問を終了しました。

◆ニコボックスは次回掲載させていただきます。

次回例会

平成19年10月23日(火)

優良従業員表彰